

単
元
名

～どうぶつえんをつくろう～

どうぶつの赤ちゃん

教科書出版社名（光村図書）

○ 小学校（ 1 ）年 教科等（ 国語 ）

○ 「自ら学ぶ子どもの育成」に向けて、この単元で付けたい力

（教科等で付けたい力）

- ・文章の中の重要な語や文を考えて選び出すことができる。
- ・時間的な順序や事柄の順序などを考えながら内容の大体を捉えることができる。
- ・語と語や文と文との続き方に注意しながら、内容のまとまりがわかるように書き表し方を工夫することができる。

（学校図書館等の活用で付けたい力）

- ・共通、相違、事柄の順序など情報と情報との関係について理解することができる。

○ 学校図書館等活用のポイント

- ・本から知識と興味を広げる。
- ・「大きさ」「目・耳」などの観点が調べられる図書を活用し、観点ごとに対応させて調べる。

○ 学習の展開（全10時間）（学校図書館等を活用した時間は☆印）

第1次	<ul style="list-style-type: none">・題名や挿絵から動物の赤ちゃんに興味をもつ。・人間の赤ちゃんの様子を思い出す。
第2次	<ul style="list-style-type: none">・文章全体の構成を捉える。・共通する言葉を捉え、比較する。・比較観点をもとにライオンの赤ちゃんとしまうまの赤ちゃんの生まれたばかりの様子を比較する。・2と5段落、4と6段落、4と7段落で比較し、違いを考える。・取り上げた事例の関連性を捉える。
第3次（☆）	<ul style="list-style-type: none">・これまでの学習をもとに、カンガルーの赤ちゃんの説明を考える。・調べて得た情報を、図鑑を作成するためのワークシートに当てはめる。・出来上がった動物園にいる動物の赤ちゃんの説明を読み合い、交流する。

(本時 8 / 10 時)

☆学校図書館等活用 (本時) の学習

本時のねらい
 観点に沿って、構成を意識しながら、わかりやすい表現で文章を書くことができる。

学習展開

時間 (分)	主な学習活動	指導上の留意点
5	1. 前時のふりかえりをする。 ・観点を確認し、カンガルーの赤ちゃんの特徴をふりかえる。 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 10px auto; width: fit-content;"> カンガルーとじぶんのえらんだどうぶつのとくちょうをくらべることができる </div>	・観点を確認し、表を掲示する。
20	2. 図鑑を作るために、紹介したい動物についてカンガルーとの比較表にまとめる。 ・図鑑から「大きさ」「目・耳」「おかあさん」「うごき」「たべもの」の観点に沿って、ワークシートに書く。	・『比べよう！ どうぶつの赤ちゃん』の本を活用し、観点に沿って書き抜く。
10	3. カンガルーと比べて、思ったこと、感じたことを交流する。 ・調べた動物についてペアで交流する。 ・全体で交流する。	・観点のすべてを伝えるのではなく、自分の感じたことを伝えるように言う。
10	4. 下書き・清書をする。 ・動物園を作るために、画用紙に清書する。	・ワークシートに沿って観点別に記入し、絵や写真を貼る。

図書館活用
 ポイント

